

## 一般社団法人日本歯科医学会連合 令和 5 (2023) 年度事業報告書

### 1. 理事会開催：6回

第1回理事会（令和5(2023)年5月17日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

#### 【承認された議題】

- 1) 令和4(2022)年度事業報告に関する件
- 2) 令和4(2022)年度決算に関する件
- 3) 令和5(2023)年度定時社員総会招集に関する件

第2回理事会（令和5(2023)年6月14日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

#### 【承認された議題】

- 1) 定時社員総会進行に関する件
- 2) 臨時社員総会招集に関する件

第3回理事会（令和5(2023)年7月12日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

#### 【承認された議題】

- 1) 理事長（代表理事）の選任に関する件
- 2) 副理事長および専務理事の選任に関する件
- 3) 委員会規程の改正に関する件
- 4) 委員会委員等の選任に関する件

第4回理事会（令和5(2023)年9月6日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

#### 【承認された議題】

- 1) 委員会委員等選任に関する件
- 2) 委員会規程の改正に関する件
- 3) 賛助会員入会に関する件
- 4) 会員退会届の様式制定に関する件

第5回理事会（令和5(2023)年12月6日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

#### 【承認された議題】

- 1) 令和6(2024)年度事業計画に関する件
- 2) 令和6(2024)年度予算編成に関する件
- 3) 特別事業積立金の取り崩しに関する件
- 4) 令和6(2024)年度予算の特別事業積立金への繰り入れに関する件
- 5) 委員会幹事の解嘱に関する件
- 6) 令和5(2023)年度臨時社員総会招集に関する件
- 7) 賛助会員入会に関する件

第6回理事会（令和6(2024)年3月6日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

#### 【承認された議題】

- 1) 一般社団法人日本歯科医学会連合就業規程の制定に関する件
- 2) 一般社団法人日本歯科医学会連合非常勤職員就業規程の制定に関する件
- 3) 一般社団法人日本歯科医学会連合職員給与規程の制定に関する件
- 4) 一般社団法人日本歯科医学会連合職員退職手当規程の制定に関する件
- 5) 一般社団法人日本歯科医学会連合育児、介護休業等に関する規則の制定に関する件
- 6) 令和6(2024)年度事業計画に関する件
- 7) 令和6(2024)年度予算編成に関する件
- 8) 特別事業積立金に関する件
- 9) 一般社団法人日本歯科医学会連合臨時委員会等名称変更に関する件
- 10) 賛助会員入会に関する件
- 11) 日本歯科医学会連合雑誌（日歯連合誌）の支出項目設定に関する件

## 2. 総会開催：3回（定時総会1回，臨時総会2回）

定時総会（令和5(2023)年6月14日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

### 【承認された議題】

- 1) 令和4(2022)年度事業報告に関する件
- 2) 令和4(2022)年度決算に関する件

臨時総会（令和5(2023)年7月12日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

### 【承認された議題】

- 1) 第5期理事の選任に関する件

臨時総会（令和6(2024)年3月13日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

### 【承認された議題】

- 1) 令和6(2024)年度事業計画に関する件

## 3. 事業

### 1) 将来構想推進委員会

当法人監修による「エビデンスに基づく一般歯科診療における医療関連感染対策実践マニュアル」を永末書店から令和5(2023)年6月に発刊した。

東京都医工連携 HUB 機構との協働による医工連携事業として令和6(2024)年3月7日に「日本歯科医学会連合イノベーションフォーラム」をオンラインミーティングシステムで開催した。

令和6(2024)年3月7日

日本歯科医学会連合 イノベーションフォーラム

主催：一般社団法人日本歯科医学会連合，東京都医工連携 HUB 機構

テーマ：食べる喜び，話す楽しみの新結合，新融合を共に

開催形式：オンライン

演題：2040年への歯科イノベーションロードマップについて

講師：小林隆太郎（一般社団法人日本歯科医学会連合 将来構想推進委員会委員長）

演題：ご機嫌な人生を送るために必要なお口の健康

講師：大島勇人（新潟大学大学院医歯学総合研究科硬組織形態学分野教授）

（将来構想推進委員会開催）

第1回：令和5(2023)年4月27日（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

第2回：令和5(2023)年9月12日（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

（商標登録展開ワーキンググループ）

当法人のキャラクター「ハビルちゃん」が賛助会員の「シャボン玉石けん株式会社」の工場を訪問して「シャボン玉石けんのこだわり」を取材した動画を令和6(2024)年3月に制作し当法人ウェブサイトにて配信した。

（委員会開催）

第1回：令和5(2023)年11月21日（オンライン）

（顎骨骨密度デンタルエックス線画像診断に関する検討ワーキンググループ）

「口内法デンタルX線画像から顎骨の骨密度を計測するソフトウェアを利用した研究課題」の募集を「顎骨骨密度デンタルエックス線画像診断に関する検討ワーキンググループ」を発足し令和3(2021)年度より新規事業として開始した。令和5(2023)年度研究課題募集（第IV期募集）は，6題の応募があり6の研究課題を採択した。

（委員会開催）

第1回：令和5(2023)年6月13日（オンライン）

第2回：令和5(2023)年8月8日(オンライン)  
第3回：令和6(2024)年1月11日(オンライン)

2) 企画広報委員会

メーリングマガジンを創設し、当法人の会員に対する情報発信の体制を整えた。さらに、当法人ウェブサイトの階層別体系を見直し、アクセシビリティの向上を図った。

(企画広報委員会開催)

第1回：令和5(2023)年4月28日(電磁)  
第2回：令和5(2023)年8月29日(オンライン)  
第3回：令和6(2024)年1月24日(ハイブリッド形式：会場-オンライン)

3) 大型研究推進委員会

第7回大型医療研究推進フォーラム「次世代歯科医療の社会実装に向けた取り組み」を令和6(2024)年2月17日にオンラインで開催した。本フォーラムは、歯科界における開発シーズを発掘し育てるために、当法人が歯科医学、医療に携わる研究者を支援して、厚生労働省、AMED、PMDA などによる医療研究開発推進を追い風に、産官学連携を一層活発にすることで今後の歯科医療研究開発をさらに活性化させることを目的として企画した。今回、日本薬系学会連合から講師をお招きし薬学領域において行われる研究内容が盛り込まれたことにより、さらに歯科医療改革につながるものとなった。

令和6(2024)年2月17日

第7回大型医療研究推進フォーラム

テーマ：次世代歯科医療の社会実装に向けた取り組み

開催形式：オンライン

演題：健康長寿社会への挑戦 ― 最期まで自分らしく生ききるために ―

講師：江崎禎英(社会政策課題研究所所長)

演題：小児先天性疾患、難治性疾患の臨床遺伝学：臨床研究の成果と展望

講師：小崎健次郎(慶應義塾大学医学部教授)

演題：日本薬系学会連合の将来構想

講師：高倉喜信(日本薬系学会連合会長、京都大学副学長)

演題：大型研究事業の企画と提案書作成のコツ

講師：吉田靖弘(大型研究推進委員会委員長、北海道大学大学院歯学研究院教授)

(委員会開催)

第1回：令和5(2023)年8月28日(オンライン)  
第2回：令和5(2023)年10月6日(オンライン)

4) 国際活動委員会

令和6(2024)年2月21日に、フォーラム「翔(と)びたて! ニューノーマル時代の海外留学～最新の取り組みと未来への展望～」をオンラインで開催し、その後、2月22日から3月29日までオンデマンド配信した。講師(宮崎 隆先生、新谷明一先生、益野一哉先生)の講演後、委員もパネルディスカッションに参加した。

令和6(2024)年2月21日

国際活動委員会フォーラム2023

テーマ：翔(と)びたて! ニューノーマル時代の海外留学 最新の取り組みと未来への展望

開催形式：オンライン、オンデマンド

演題：私立医系総合大学における国際交流活動の現状と歯学生への期待

講師：宮崎 隆(日本歯科医学会連合副理事長、昭和大学国際交流センター長)

演題：海外留学の現状と展望

講 師：新谷明一（日本歯科大学生命歯学部歯科理工学講座教授）

演 題：大阪歯科大学における国際交流の変遷

講 師：益野一哉（大阪歯科大学歯学部歯科医学教育開発センター教授）

（委員会開催）

第1回：令和5(2023)年9月4日（オンライン）

第2回：令和5(2023)年9月8日-21日（電 磁）

第3回：令和5(2023)年9月28日（オンライン）

第4回：令和5(2023)年10月26日（オンライン）

第5回：令和6(2024)年2月14日（オンライン）

#### 5) ICT活用委員会

令和5(2023)年12月13日に会員(46学会)に「AIに関するアンケート実施について」を協力依頼した。本アンケートは、各会員学会のAIに関する研究の有無および進捗状況や現状と今後の方向性、問題点を抽出し、AI関連企業との橋渡しも含めて検討することを目的とした調査を行い調査結果についてウェブサイトに掲載した。オンデマンド研修システムを会員学会へ貸し出すことを検討し、次年度から運用を開始することとした。

（委員会開催）

第1回：令和5(2023)年5月9日（オンライン）

第2回：令和5(2023)年9月1日（オンライン）

第3回：令和5(2023)年11月8日（オンライン）

第4回：令和6(2024)年2月6日（オンライン）

#### 6) 医療問題に関わる調査研究等の事業については、以下の委員会が担当し実施した。

##### ① 政策連携渉外委員会

「歯科医療制度と歯科医療問題に関する資料収集および調査研究」に関する課題で、11題の応募課題を採択し、依頼課題については2題を依頼した。過年度を含め課題および報告書等はウェブサイトに掲載されている。課題報告書と論文は、関係諸団体に提出する資料の学術的根拠として活用される。

（政策連携渉外委員会開催）

第1回：令和5(2023)年5月11日（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

第2回：令和5(2023)年8月23日（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

第3回：令和6(2024)年3月25日（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

（歯科医学用語検討ワーキンググループ）

日本歯科医学会連合歯学用語集（和英，英和）を作成し，ウェブサイトに掲載した。

（委員会開催）

第1回：令和5(2023)年4月11日（電 磁）

第2回：令和5(2023)年12月7日（オンライン）

（政策連携渉外委員会打合せ会議）

第1回：令和5(2023)年4月24日（会 場）

第2回：令和5(2023)年5月31日（会 場）

第3回：令和5(2023)年7月4日（会 場）

第4回：令和5(2023)年7月27日（会 場）

第5回：令和5(2023)年10月10日（会 場）

第6回：令和5(2023)年10月20日（会 場）

② 医療職連携委員会

令和5(2023)年11月19日にフォーラム「歯科衛生士のバージョンアップ～認定歯科衛生士の資格を活かす～」を開催し、フォーラム終了後オンデマンド配信した。  
歯科衛生士の資質向上だけでなく、社会的認知度を高め質の保証をするためには、広告可能な専門資格制度の確立が必要であり、その第一歩として歯科衛生士の認定資格取得者による経験談と共働者である歯科医師の声を聴く企画とした。

令和5(2023)年11月19日

医療職連携委員会フォーラム2023

テーマ：歯科衛生士のバージョンアップ～認定歯科衛生士の資格を活かす～

開催形式：オンライン、オンデマンド

演題：日本歯科衛生士会認定歯科衛生士（糖尿病予防指導）について

講師：林 糸津香（一般社団法人和歌山県歯科衛生士会）

演題：日本障害者歯科学会認定歯科衛生士について

講師：石井里加子（オーラルヘルスサポート歯科 すみだ）

演題：日本歯科衛生士会認定歯科衛生士（医科歯科連携・口腔機能管理）について

講師：中山良子（一般社団法人岡山県歯科衛生士会）

演題：日本歯科麻酔学会認定歯科衛生士について～資格活用の可能性～

講師：西村三美（東邦大学医療センター大橋病院）

演題：2040年を見据えた歯科医療体制「地域支援型多機能歯科診療所構想」における認定歯科衛生士の活躍の可能性

講師：立浪康晴（医療法人社団星陵会たちなみ歯科口腔外科クリニック）

演題：日本歯周病学会における認定歯科衛生士制度について

講師：荒木美穂（朝日大学歯科衛生士専門学校）

（医療職連携委員会開催）

第1回：令和5(2023)年4月24日（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

第2回：令和5(2023)年5月30日（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

第3回：令和5(2023)年8月9日（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

第4回：令和5(2023)年10月5日（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

第5回：令和6(2024)年2月22日（電 磁）

第6回：令和6(2024)年3月25日（電 磁）

（専門歯科技工士制度検討ワーキンググループ）

令和6(2024)年3月11日から3月18日まで（一社）日本歯科技工士学会と「2023年度第3回専門歯科技工士講習会」および「2023年度第4回専門歯科技工士講習会」をオンデマンド配信にて実施した。

令和6(2024)年3月11日から3月18日

2023年度第3回専門歯科技工士講習会

主催：一般社団法人日本歯科技工学会

共催：当法人（日本歯科医学会連合）

開催形式：オンデマンド

演題：歯科におけるデジタルワークフローの展望1 ジルコニアについて

講師：野本秀材（サクラパーク野本歯科）

令和6(2024)年3月11日から3月18日

2023年度第4回専門歯科技工士講習会

主催：一般社団法人日本歯科技工学会

共催：当法人（日本歯科医学会連合）

開催形式：オンデマンド

演 題：歯科におけるデジタルワークフローの展望 2 歯科医療のデジタル化について  
講 師：野本秀材（サクラパーク野本歯科）

（委員会開催）

第1回：令和5(2023)年6月2日（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

（専門歯科衛生士制度検討ワーキンググループ）

歯科衛生士の認定資格や専門資格獲得を啓発するWEBフォーラムを企画した。フォーラム開催日程、運営等については、医療職連携委員会にて検討することとした。

（委員会開催）

第1回：令和5(2023)年5月15日（電 磁）

第2回：令和5(2023)年5月22日（電 磁）

第3回：令和5(2023)年12月20日（オンライン）

③ 臨床研究支援委員会

令和5(2023)年11月5日に令和5年度臨床研究支援委員会第3回フォーラム「関連法規や指針を理解して、より良い臨床研究を行うために」をオンラインで開催し、フォーラム終了後、令和5(2023)年11月6日から12月25日までオンデマンド配信した。

令和5(2023)年11月5日

臨床研究支援委員会第3回フォーラム

テーマ：関連法規や指針を理解してより良い臨床研究を行うために

開催形式：オンライン，オンデマンド

演 題：改正個人情報保護法に対応した倫理指針における個人情報の取扱い－匿名化の方法，手順を中心に－

講 師：栗原千絵子（臨床研究支援委員会委員，神奈川歯科大学特任教授）

演 題：医療機器の承認申請について

講 師：馬場俊輔（臨床研究支援委員会副委員長，大阪歯科大学口腔インプラント学講座主任教授）

演 題：研究倫理のQ&A－事前質問から－

講 師：岩渕博史（臨床研究支援委員会委員長，国際医療福祉大学病院教授，歯科口腔外科部長）

（臨床研究支援委員会開催）

第1回：令和5(2023)年4月19日（オンライン）

第2回：令和5(2023)年5月29日（オンライン）

第3回：令和5(2023)年8月25日（オンライン）

第4回：令和6(2024)年3月7日（オンライン）

7) 医療安全に寄与する事業として、医療安全調査委員会が以下の事業を展開した。

令和6(2024)年1月27日に（公社）日本歯科医師会と連携して令和5年度医療事故調査制度研修会（オンライン）を実施した。また、令和6(2024)年3月14日に開催された（一社）日本医療安全調査機構の協力学会説明会に砂田委員長がオンラインで出席した。

（医療安全調査委員会開催）

第1回：令和5(2023)年10月11日（オンライン）

8) 歯科専門医制度の確立に参画する事業を歯科専門医制度委員会が担った。

日本歯科専門医機構の構成社員の学会として、我が国の歯科専門医制度の確立事業に参画し、日本歯科専門医機構の活動に協力するとともに、日本歯科医学会連合会員学会の専門医制度を支援するための方策を検討した。歯科専門医制度に関連する漫画制作に対する協力を行っ

た。

(歯科専門医制度委員会開催)

第1回：令和5(2023)年8月21日(オンライン)

(歯科専門医制度委員会打合せ会議)

第1回：令和5(2023)年7月25日(会場)

第2回：令和5(2023)年9月28日(会場)

第3回：令和5(2023)年10月16日(会場)

第4回：令和5(2023)年12月22日(会場)

## 9) 出版事業

令和5(2023)年12月22日に「日本歯科医学会連合雑誌 第2巻」を発行した。

令和5(2023)年4月24日に「Asian Pacific Journal of Dentistry (APJD)- 2023 Volume 23 Issue 1」を、令和5(2023)年10月25日に「Asian Pacific Journal of Dentistry (APJD)- 2023 Volume 23 Issue 2」を科学技術情報発信流通総合システム(J-STAGE)に掲載した。

(和文誌編集会議開催：日本歯科医学会連合雑誌)

第1回：令和5(2023)年5月25日(会場)

第2回：令和5(2023)年8月22日(会場)

第3回：令和5(2023)年11月13日(会場)

第4回：令和5(2023)年11月30日(会場)

(英文誌編集会議：Asian Pacific Journal of Dentistry (APJD))

第1回：令和5(2023)年6月5日(会場)

第2回：令和5(2023)年9月1日(ハイブリッド形式：会場-オンライン)

(英文誌編集打合せ会議)

第1回：令和5(2023)年5月15日(会場)

第2回：令和5(2023)年10月12日(オンライン)

## 事業報告の附属明細書について

令和 5 (2023) 年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。